

JENESYS2019ASEAN 招へいプログラム 第9陣の記録 テーマ：スポーツと五輪，対象国：マレーシア

1. プログラム概要

JENESYS2019の一環として、マレーシアよりスポーツ交流関係者、警察関係者、報道関係者21名が、2019年10月29日～11月6日の8泊9日の日程で来日し、「スポーツと五輪」をテーマとしたプログラムに参加しました。本訪日団は、都内でテーマに関する講義の聴講、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設等の視察を行い、その後、マレーシアのオリンピック・パラリンピックのホストタウンである愛媛県を訪問し、スポーツ施設視察及び関係者との交流会を実施しました。一行は、プログラム中、スポーツと五輪における日本の取組みへの理解を促進すると同時に、日本とマレーシア間の交流を深め、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて对外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】マレーシア 21名

【訪問地】東京都、愛媛県

2. 日程

10月29日（火） 来日

10月30日（水） 【オリエンテーション】
【講義聴講】「ASEANと日本について」日本アセアンセンター
【視察・講義聴講】日本体育大学国際交流センター

10月31日（木） 【視察】YONEX TOKYO SHOWROOM, 日本オリンピックミュージアム

11月 1日（金） 東京都から愛媛県へ移動
【見学】松山城・道後温泉
【表敬・講義聴講】愛媛県庁

11月 2日（土） 【視察】愛媛県武道館
サンライズ糸山（今治市サイクリングターミナル）
【見学】亀老山展望公園

11月 3日（日） 愛媛県から東京都へ移動

【見学】テーマ「日本の歴史・文化」 皇居外苑・浅草

- 11月 4日（月）【視察】東京2020オリンピック・パラリンピック大会競技場
（選手村・有明周辺の施設・東京アクアティクスセンター・新国立競技場）
【ボランティア研修会】国立オリンピック記念青少年総合センター
【講義聴講】「オリンピック・パラリンピックのボランティア活動」
- 11月 5日（火）【ワークショップ】TKP神田ビジネスセンター
【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
- 11月 6日（水） 成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

	
<p>10月30日【講義聴講】 テーマ「ASEANと日本について」 日本アセアンセンター</p>	<p>10月30日【視察・講義聴講】 日本体育大学国際交流センター</p>
	
<p>10月31日【視察】 YONEX TOKYO SHOWROOM</p>	<p>10月31日【視察】 日本オリンピックミュージアム</p>



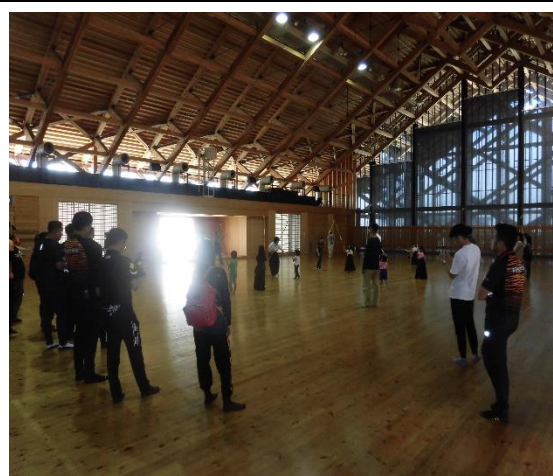
11月1日【見学】
松山城・道後温泉



11月1日【表敬・講義聴講】
愛媛県庁



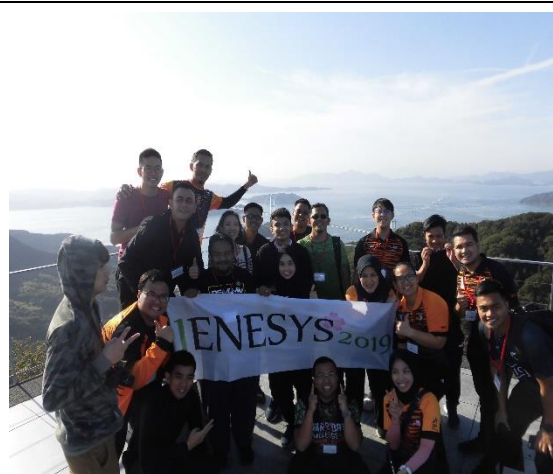
11月1日【交流会】
愛媛県及び愛媛県バドミントン協会
会長を囲んで



11月2日【視察】
愛媛県武道館



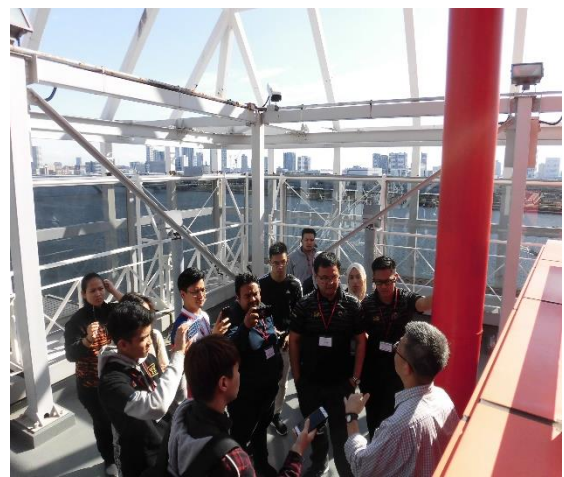
11月2日【体験】
しまなみ海道サイクリング



11月2日【見学】
亀老山展望公園



11月3日【見学】
皇居外苑・浅草



11月4日【視察】
東京2020オリンピック・
パラリンピック大会競技場



11月4日【講義聴講】
東京2020オリンピック・パラリンピック
のボランティア活動



11月5日【ワークショップ】
TKP神田ビジネスセンター

	
<p style="text-align: center;">11月5日【報告会】 訪日成果・帰国後の活動計画 発表グループ 1</p>	<p style="text-align: center;">11月5日【報告会】 訪日成果・帰国後の活動 計画発表グループ 2</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆スポーツリポーターとして、日本体育大学での講義はこの国がいかに関選手たちがメジャーなスポーツ大会でメダルを獲得のを援助しているかを知り、また日本オリンピックミュージアムでは驚きの連続で、できれば過去に戻ってオリンピックとパラリンピックの歴史についての知識を得たいと思いました。

その後愛媛へ行き、その美しい土地にすっかり魅了され、なぜ世界中の選手たちがオリンピックの準備のためにこの地を選ぶのかが理解できました。

今回の訪問を機にマレーシアと日本の友好関係を強化し、更に深める事を楽しみにしています。この経験は間違いなくマレーシアの同僚や家族と共有する価値があります。

◆大変素晴らしいプログラムで、マレーシアとは違う予想外のことをたくさん経験できました。さらに、近代的な国である日本は独自の文化を持っており、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの準備が進んでいます。そうした取り組みはマレーシアでも実行されるべきで、特にスポーツに関してはそうです。おそらくマレーシアは日本より、特に経済・産業分野で 16 年遅れています。今がまさに、すべての面で我が国が日本と同じレベルに追い付く時だと考えます。

今回の日本訪問で得た物、見聞きしたものをマレーシアでも積極的に発信する事で一日でも早く日本のレベルに追いつきたいと思いました。

◆スポーツ文化について、東京 2020 オリンピック組織の関係者たちから学びました。もっとも感心したのは、多くの若者たちが大志と世界への希望に満ち溢れていることで、未来の文化を形成する若者に対する期待を非常に強く持ちました。

今回国際的スポーツで多くの優秀な選手を輩出している日本体育大学への訪問を始め、日本を代表するスポーツ関連企業であるヨネックス社も国の経済発展の援助をしたり、選手たちのニーズにスポンサーとして応えたり、素晴らしいと思いました。

今回の滞在中で多くの「日本の良さ」を SNS で発信する事が出来ました。

5. 受入れ側の感想

◆ TOKYO YONEX SHOWROOM 担当者

バドミントンラケットについて木製からカーボン素材への推移、製造への展開、歴史等を詳細に説明したが、参加者がやはりオリンピックスポーツ関連事業に携わっていることもあり、バドミントンラケットの成長への鍵（イノベーション）やカーボン素材の将来性などと言った専門性の高い質問が相次いだ点に印象深さを感じた。

◆ 日本体育大学国際交流センター

今まで様々な団体を受け入れてきましたが、こんなにも多くの質問が出たのは今回が初めてでした。受入側の立場としても積極的に見学・質問をして下さり遣り甲斐がありました。

◆ 愛媛県スポーツ文化部スポーツ局担当者



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のマレーシアのホストタウンである愛媛県へ訪問いただき感謝しています。スポーツ関連施設の視察、関係者との交流等が図れ有意義な滞在となったものと感じている。
今回の交流事業を通じて、日本とマレーシアの友好関係がより一層強化されるとともに、愛媛の魅力を積極的に発信していただく事を大いに期待したいと思います。

6. 参加者の対外発信

 <p>Johnathan Chanさんが投稿をシェアしました。 11月2日 16:58</p> <p>https://www.facebook.com/548257800/posts/10157617243472801/</p> <p>Johnathan Chan 10月31日 9:36</p> <p>Day 2, visited the ASEAN-Japan Centre learn a lot regarding the trade, the relate with the 10 ASEAN Country and also the tourism part of it. Really interesting. Have you heard of ASEAN? If no, I think you better start googling.</p>	 <p>Shaliza Samsudinさんが投稿をシェアしました。 11月2日 17:24</p> <p>https://www.facebook.com/100000427997455/posts/2796800177010888?d=n&sfns=mo</p> <p>Shaliza SamsudinさんはFerzalfie Fauziさんと一緒にいます。 11月2日 16:22</p>
<p>【聴講】 日本アセアンセンターおよび 【視察】 日本体育大学についての発信 日本アセアンセンターでは、日本とASEAN10カ国との関係や貿易、また観光に</p>	<p>【視察】 愛媛県武道館および 【視察】 サンライズ糸山についての発信 愛媛県武道館にある大規模な総合格闘技ホールを視察した。お城のような大規模</p>

<p>ついて学んだ。大変興味深かった。 次に“日体大”の国際交流センターを訪れた。この大学はオリンピックの金メダリストを数多く輩出しており、世界最高の選手たちと一緒にスポーツや勉強ができるのは素晴らしいと思った。</p>	<p>な石の壁、そびえ立つ木の柱、灰色の瓦など、素晴らしい建築物に圧倒された。 しまなみ海道のサイクリングでは亀老山展望公園からの景色はもちろん、日本の技術に支えられた美しい風景を堪能できた。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
<p>グループA</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア青年スポーツ省やその他機関のSNSに記事，論文，写真，動画等を投稿し，日本の文化とスポーツを理解するためのプロモーションをする。 また地元メディアとコラボし，もっと日常的に体育活動をすることの重要性や利益について広報する。 ・スポーツイベントの長期的な管理を組織的に行うことで，若手選手たちの将来的な育成を促す。 <p>東京2020に向け，フレンドリーマッチなどでマレーシアと日本のスポーツ交流を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフィスの既存のゴミ箱を素材別にすることによって，リサイクル計画を始動する。 <p>清掃員にゴミ分別の情報を提供する。</p>	<p>グループB</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフがスポーツ関連の活動に関われるよう通常業務中30分の休憩を取れるようにし，家族とともに体育活動に参加するよう推奨する。また青年協会やスポーツ協会間での話し合いやワークショップ，セミナー等を行う。 ・現在ほとんど多目的で使用されている施設を，継続的な大会やイベントでスポーツ専門のホールやジムとして最大限に利用することを提案する。また利用者に，きれいかつ良い状態で使用するよう周知徹底する。 ・管理部門と協力し，オフィス建物内での禁煙ポリシーを実施する。また「都市農業」（花や植物を植えた小さな庭）として利用するための特定地区を提案し，スタッフが運営する。



グループC

- ・日本の文化，スポーツ，経済，社会の独自性を友人や家族たちに伝える。
- ・日本がスポーツ交流だけではなく，教育や言語でも交流を行っていることを，SNS等で発信する。
- ・マレーシアも参加する東京2020オリンピックについて，フェイスブックやインスタグラム，ツイッター等のSNSへの投稿を続ける他，口コミでも宣伝していく。

グループD（メディアチーム）

- ・記事や動画を5つのメディアに3言語で発表し，多様なSNSに投稿することで，我々の持つバックグラウンドとは異なる日本での様々な体験をシェアする。
- ・特に東京2020オリンピックに注目しており，経済的な観点から競技，準備，ボランティアまで幅広く取り上げる。それに加え，今回のプログラムで訪れた愛媛についても特別な記事を用意したい。

事業実施団体：株式会社JTB